

談論

「5月は薔薇の季節である。今は最盛期を過ぎてしまつたが、まだ健気に咲いている。

人たちが
「とても奇
麗ですね。」

薔薇と私

成瀨
正

「毎年薔薇植樹式」を実施する。この式典は、毎年5月の連休明けに、大阪堺の自宅にて開催される。この式典では、新規に植樹された木々の下で、過去の工場見学記念写真を見ながら懐かしい話を交わす。また、毎年5月には、新規に植樹された木々の下で、過去の工場見学記念写真を見ながら懐かしい話を交わす。また、毎年5月には、新規に植樹された木々の下で、過去の工場見学記念写真を見ながら懐かしい話を交わす。

で「数学でも発見のたちの生きる力を手前に緊張と、一種の助けして、新報国製ゆるみが必要」と書いた。鉄という会社の力についているが、凡人のヴァスにどんな名画私にも中身の質は違つても同じ作用があるように見える。それでも同じ作用があるように見える。

わが社の構造改革
(新報国製鉄社長)



2016年(平成28年)6月6日
鉄鋼新聞

※掲載許可取得済